

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 前期月4, 木3	対象年次 1～
授業科目名 (時間割コード: 043101)	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
ドイツ語 I MT(1)	授業形態 講義	単位数 2	
German I	関連授業科目		
	履修推奨科目		
担当教員名 最上 英明			
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験 5 級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準			
中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週 2 回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週 2 回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットしていきましょう。			
教科書・参考書等			
『ミュンヘンに夢中』 アンドレア・ラーブ他著 (同学社)			
オフィスアワー 水曜日 1 時限目、またはメール等での相談。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 前期月3, 木2	対象年次 1～
授業科目名 (時間割コード: 043102)			
ドイツ語 I JA(2)	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
German I	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 渡部 祐加	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験 5 級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準			
中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週 2 回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週 2 回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットしていきましょう。			
教科書・参考書等			
Schritte international (Hueber)			
オフィスアワー 非常勤の教員のオフィスアワーについては、授業後の時間を利用して欲しい。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043103) ドイツ語 I JE(3) German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 前期水2, 金4	対象年次 1～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 フリアン・ノイマン	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標 ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験 5 級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス この授業は、週 2 回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週 2 回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『Sprechen und Verstehen』Florian Neumann 著（同学社）			
オフィスアワー 木曜日3時限目			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 前期水2, 金4	対象年次 1～
授業科目名 (時間割コード: 043104)	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
ドイツ語 I JE(4)	授業形態 講義	単位数 2	
German I			
担当教員名 アルベルス マリウス	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (一回の授業に付き準備30分復習30分)			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験 5 級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準			
期末試験の評価が中心になるが、中間試験、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週 2 回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週 2 回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
教科書・参考書等			
『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch 著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043105) ドイツ語 I JE(5) German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 前期水2, 金4	対象年次 1～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験 5 級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準			
中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週 2 回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週 2 回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験 【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットしていただく い。			
教科書・参考書等			
『ベルリンに夢中』 アンドレア・ラーブ他著 (同学社)			
オフィスアワー 水曜日 1 時限目、またはメール等での相談。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043106) ドイツ語 I JE(6) German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 前期月3, 木2	対象年次 1～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 フリアン・ノイマン	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標 ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験 5 級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス この授業は、週 2 回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週 2 回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『Sprechen und Verstehen』Florian Neumann 著（同学社）			
オフィスアワー 木曜日3時限目			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 前期月3, 木2	対象年次 1～
授業科目名 (時間割コード: 043107) ドイツ語 I M(7) German I	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 今崎 高秀	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標 ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験 5 級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス この授業は、週 2 回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週 2 回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(14) 第1課～第6課 (15) 中間試験 (16)～(30) 第7課～第11課 (31) 期末試験 【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットしていきましょう。			
教科書・参考書等 『プロムナード やさしいドイツ語文法（改訂版・CD付）』 著者: 荻原耕平・山崎泰孝 白水社			
オフィスアワー 非常勤の教員のオフィスアワーについては、授業後の時間を利用して欲しい。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 前期月3, 木2	対象年次 1～
授業科目名 (時間割コード: 043108) ドイツ語Ⅰ M(8) GermanⅠ	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 田淵 昌太	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(事後学習67時間30分)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標 ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式で授業を行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される。週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
【授業計画】 (1)～(2) 受講上の諸注意 あいさつ表現 アルファベット (3)～(7) 第1課(現在人称変化) (8)～(11) 第2課(名詞の性/定冠詞の格変化) (12)～(13) 第3課(名詞の複数形/人称代名詞の格変化) (15)～(16) 第4課(幹母音変化の動詞/命令法) (17)～(18) 第5課(定冠詞類/不定冠詞類) (19) 中間試験 (20)～(23) 第6課(前置詞) (24)～(26) 第7課(話法の助動詞/未来形) (27)～(30) 第8課(複合動詞/接続詞) (31) 期末試験 ※ 授業進度には多少のずれが生じる場合がある。 【自学自習のためのアドバイス】 この「ドイツ語Ⅰ M(8)」の授業においては、特段、予習をする必要はない。 ただし復習は絶対に行わなければならない。 推奨される復習の仕方は以下のとおりである。〔15週間で52時間30分〕 1) 新出単語の暗記: 毎日10分 (綴りと意味を確認し、書いたり発音したり聞いたりしながら、目・手・口・耳を総動員して覚える。) 2) 文法の復習: 毎日10分 (習った項目を見直し、きちんと理解する。疑問点は次の授業で必ず質問し、あやふやな点を残さない。) 3) 発音練習: 毎日10分 (単語・決まり文句・例文などを、とにかく声に出して発音して、ドイツ語の響きに慣れる。) また、週に一度は宿題が出る。この宿題のために少なくとも、毎回60分は時間を取ってもらいたい。			

4) 宿題：毎回、少なくとも 60 分　〔15 回分で 15 時間〕
教科書・参考書等 前田良三・高木葉子『身につくドイツ文法〈Leicht〉2』（郁文堂 2020）定価 2,600 円（本体）ISBN: 978-4-261-01272-9
オフィスアワー 質問などがある場合には、授業前後の休み時間において、その都度、対応します。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 前期月3, 木2	対象年次 1～
授業科目名 (時間割コード: 043109) ドイツ語 I M(9) German I	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 アルベルス マリウス	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (一回の授業に付き準備30分復習30分)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標 ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験 5 級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 期末試験の評価が中心になるが、中間試験、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス この授業は、週 2 回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週 2 回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch 著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043201) ドイツ語Ⅱ MT(1) German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 後期月4, 木3	対象年次 1～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標 ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『ミュンヘンに夢中』 アンドレア・ラーブ他著 (同学社)			
オフィスアワー 水曜日1時限目、またはメール等での相談。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043202) ドイツ語Ⅱ JA(2) German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 後期月3, 木2	対象年次 1～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 渡部 祐加	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標 ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験 【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットしていただく い。			
教科書・参考書等 Schritte international (Hueber)			
オフィスアワー 非常勤の教員のオフィスアワーについては、授業後の時間を利用して欲しい。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 後期水2, 金4	対象年次 1～
授業科目名 (時間割コード: 043203) ドイツ語Ⅱ JE(3) German II	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 フロリアン・ノイマン	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準			
中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
教科書・参考書等			
『Sprechen und Verstehen』Florian Neumann 著（同学社）			
オフィスアワー 木曜日3時限目			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 後期水2, 金4	対象年次 1～
授業科目名 (時間割コード: 043204)	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
ドイツ語Ⅱ JE(4)	授業形態 講義	単位数 2	
German II			
担当教員名 アルベルス マリウス	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (一回の授業に付き準備30分復習30分)			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準			
期末試験の評価が中心になるが、中間試験、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
教科書・参考書等			
『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 後期水2, 金4	対象年次 1～
授業科目名 (時間割コード: 043205) ドイツ語Ⅱ JE(5) German II	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標 ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験 【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットしていただく い。			
教科書・参考書等 『ベルリンに夢中』 アンドレア・ラーブ他著 (同学社)			
オフィスアワー 水曜日1時限目、またはメール等での相談。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 後期月3, 木2	対象年次 1～
授業科目名 (時間割コード: 043206) ドイツ語Ⅱ JE(6) German II	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 フロリアン・ノイマン	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準			
中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
教科書・参考書等			
『Sprechen und Verstehen』Florian Neumann 著（同学社）			
オフィスアワー 木曜日3時限目			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043207) ドイツ語Ⅱ M(7) German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 後期月3, 木2	対象年次 1～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 今崎 高秀	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標 ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(14) 第12課～第16課 (15) 中間試験 (16)～(30) 第17課～第22課 (31) 期末試験 【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットしていきましょう。			
教科書・参考書等 『プロムナード やさしいドイツ語文法（改訂版・CD付）』 著者：荻原耕平・山崎泰孝 白水社			
オフィスアワー 非常勤の教員のオフィスアワーについては、授業後の時間を利用して欲しい。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 後期月3, 木2	対象年次 1～
授業科目名 (時間割コード: 043208) ドイツ語Ⅱ M(8) German II	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 田淵 昌太	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (準備学習 9 時間+事後学習 6 7 時間 3 0 分)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標 ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験 4 級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス この授業は、週 2 回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式で授業を行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される。週 2 回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
【授業計画】 (1) ドイツ語の方言（地域語）について (2) ～ (5) 第9 課（過去形） (6) ～ (9) 第10課（現在完了形／再帰動詞） (10) ～ (11) 第11課（形容詞の格変化） (12) ～ (14) 第12課（比較級／zu不定詞） (15) 中間試験 (16) ～ (20) 第13課（関係代名詞） (21) ～ (22) 第14課（受動態） (23) ～ (27) 第15課（接続法） (28) ～ (30) 講読（グリム童話） (31) 期末試験 ※ 授業進度には多少のずれが生じる場合がある。 ※ 受講生と相談のうえ、講読教材を変更する場合がある。			
【自学自習のためのアドバイス】 この「ドイツ語Ⅱ M (8)」の授業においては、復習は絶対に行わなければならない。 推奨される復習の仕方は以下のとおりである。〔1 5 週間で5 2 時間 3 0 分〕 1) 新出単語の暗記: 毎日 1 0 分 (綴りと意味を確認し、書いたり発音したり聞いたりしながら、目・手・口・耳を総動員して覚える。) 2) 文法の復習: 毎日 1 0 分 (習った項目を見直し、きちんと理解する。疑問点は次の授業で必ず質問し、あやふやな点を残さない。) 3) 発音練習: 毎日 1 0 分 (単語・決まり文句・例文などを、とにかく声に出して発音して、ドイツ語の響きに慣れる。)			

また、週に一度は宿題が出る。この宿題のために少なくとも60分は時間を取ってもらいたい。

4) 宿題：その都度、少なくとも60分〔15回分で15時間〕

教科書をやり終えると講読教材を読み進めていくことになる。講読の授業では、毎回、少なくとも3時間の予習（事前学習）が必要とされる。きちんと辞書を引き、自分なりの日本語訳を作成したうえで、授業に参加すること。訳文では「誰が」「何を」「どうする」のかが明確になっていなければならない。
〔3回分で9時間〕

教科書・参考書等

前田良三・高木葉子『身につくドイツ文法〈Leicht〉2』（郁文堂 2020）定価 2,600円（本体）ISBN: 978-4-261-01272-9

オフィスアワー 質問などがある場合には、授業前後の休み時間において、その都度、対応します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 後期月3, 木2	対象年次 1～
授業科目名 (時間割コード: 043209) ドイツ語Ⅱ M(9) German II	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 アルベルス マリウス	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (一回の授業に付き準備30分復習30分)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標 ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 期末試験の評価が中心になるが、中間試験、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス この授業は、週2回連続で行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード: 043301) ドイツ語Ⅲ (1) German III E(3)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 前期月2	対象年次 2～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 ネクスト・プログラム
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 今崎 高秀	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 ドイツ語の初級文法で1年次に学習した事項を復習し、学習しなかった事項も学びながら、ドイツ語の読解力を養成する。			
授業の目的 ドイツ語の初級文法を修得する。初歩的なドイツ語の読解力を確実に身につける。			
到達目標			
平易なドイツ語の文章が読めるようになる。 ドイツ語検定試験3級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。			
成績評価の方法と基準 授業への参加状況が評価の中心になるが、試験の成績も含めて、総合的に評価する。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
テキストを分担して読み進めていく。 (1) オリエンテーション (2)～(15) テキストの読解 (16) 期末試験 【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットしていきましょう。			
教科書・参考書等 プリントを使用する。			
オフィスアワー 非常勤の教員のオフィスアワーについては、授業後の時間を利用して欲しい。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 予習と出席が必須であることは言うまでもない。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード: 043302) ドイツ語Ⅲ (2) German III E(3)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 前期月2	対象年次 2～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 ネクスト・プログラム
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要			
ドイツ語の初級文法で1年次に学習した事項を復習し、学習しなかった事項も学びながら、ドイツ語の読解力を養成する。ユネスコ世界遺産に指定されたドイツとオーストリアの都市と文化遺産を扱ったテキストを読み進めながら、ドイツ語圏の歴史や文化への理解も深める。			
授業の目的			
ドイツ語の初級文法を修得する。初歩的なドイツ語の読解力を確実に身につける。			
到達目標			
平易なドイツ語の文章が読めるようになる。 ドイツとオーストリアの世界遺産のいくつかを知ることができる。 ドイツ語検定試験3級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。			
成績評価の方法と基準			
授業への参加状況が評価の中心になるが、試験の成績も含めて、総合的に評価する。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
テキストを分担して読み進めていく。 (1) オリエンテーション (2)～(15) テキストの読解 (16) 期末試験 【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットしていきましょう。			
教科書・参考書等			
教科書:『ユネスコ世界遺産で学ぶドイツ語』 荻野ノラップ (朝日出版社) 2200円 参考書:『必携ドイツ文法総まとめ-改訂版-』中島・平尾・朝倉著 (白水社) 初中級の学習に耐える独和辞典 (『アポロン』、『アクセス』など、1年次に使用した辞書で可)			
オフィスアワー 水曜1時限目。またはメールでの相談。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
予習と出席が必須であることは言うまでもない。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード: 043303) ドイツ語Ⅲ (3) German III E(3)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 前期木3	対象年次 2～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 ネクスト・プログラム
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 渡部 祐加	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要			
ドイツ語の初級文法で1年次に学習した事項を復習し、学習しなかった事項も学びながら、ドイツ語の読解力を養成する。			
授業の目的			
ドイツ語の初級文法を修得する。初歩的なドイツ語の読解力を確実に身につける。			
到達目標			
平易なドイツ語の文章が読めるようになる。 ドイツ語検定試験3級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。			
成績評価の方法と基準			
授業への参加状況が評価の中心になるが、試験の成績も含めて、総合的に評価する。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
テキストを分担して読み進めていく。 (1) オリエンテーション (2)～(15) テキストの読解 (16) 期末試験			
【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットしていきましょう。			
教科書・参考書等 プリントを使用する。			
オフィスアワー 非常勤の教員のオフィスアワーについては、授業後の時間を利用して欲しい。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
予習と出席が必須であることは言うまでもない。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-1N-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 043304) ドイツ語Ⅲ (4) German III	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 前期木3	対象年次 2～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 ネクスト・プログラム
	授業形態 講義	単位数 1	
担当教員名 アルベルス マリウス	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習 (一回の授業に付き準備30分復習30分)			
授業の概要 初級の文法、語彙、会話、読解などを復習して、知識を広める。この授業はドイツ語だけではなく、ドイツの文化や日常生活や地理なども触れる。			
授業の目的 ドイツ語の『読み』『書き』『話す』『聞く』という、言語の4つの能力を総合的に習得し、運用できるようにする。文法や語彙のドリルではなく、楽しみながら、平易なドイツ語のコミュニケーションをできるようになることを目標とする。そして初級の文法を自然に使えるようになること。			
到達目標			
1. 簡単なドイツ語文章が読めるようになる。 2. 平易なドイツ語のコミュニケーションをできるようになる。 3. 自己紹介をドイツ語でうまく表現できるようになる。 4. ドイツの社会についての知識を広めること。			
成績評価の方法と基準 期末試験の評価が中心になるが、中間試験、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
(1) ガイダンス (2)～(6) Lektion 1?5 (7) 中間試験 (8)～(12) Lektion 6?10 (13)～(14) 復習とテキスト (プリント) (15) 期末試験			
教科書・参考書等 『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード: 043401) ドイツ語会話Ⅲ German Conversation III	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2020年度 前期月1	対象年次 2～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 ネクスト・プログラム
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 フロリアン・ノイマン	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 この授業は日常生活に必要な基礎的ドイツ語会話ができるようになることを目標とする。文法中心速く進むとより、学んだ文法を自然に使えるようになることを優先する。一年目で学んだ基礎文法とパターンを繰り返し練習するので、教科書は必ずしも終わらせる必要はない。言語だけではなく、ドイツ事情（歴史、地理、文化、政治など）について話し合う。			
授業の目的 日常生活に必要な基礎的ドイツ語会話ができるようになる。文法の基本を修得する。			
到達目標 約 1000 語の語彙練習を前提としてのドイツ語の会話ができる。			
成績評価の方法と基準 評価は試験だけでは行わない。授業中に積極的に発表するなどの授業参加態度を重視する。50%は授業中の積極性、残りは口頭及び筆記試験により評価される。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス 会話の練習を積み重ねる。 (1)～(15) 会話演習 (16) 期末試験			
教科書・参考書等 プリント配布			
オフィスアワー 初回の授業で説明する。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 会話の授業なので、積極的な参加態度が求められる。			

